

## 第4章 基本目標と主な推進項目

本計画で掲げた3つの基本方針を柱として、それぞれの現状と課題を抽出した上で、そこから推進項目と「視点」「取組」を設定し、事業の推進を図ります。

### 基本方針1 子どもの読書推進

#### ■現 状

子どもの読書活動は、乳幼児期から始まり、生涯にわたって継続して行われます。生きる力や学力の向上に果たす役割と効果がとても大きいことから、子どもの読書環境を整え、本とふれあうきっかけとしてさまざまな機会を作ることがとても大切です。

特に乳幼児期と小・中学生期における読書活動では、対象を子どものみとせず、大人（保護者等）を含めて考えることが必要であり、家庭・学校・図書館が連携し、子どもの読書活動の支援と環境の整備を行うことが重要であることから、本町では、以上の点を従来から重点項目として掲げ、図書館活動や図書館の各種事業として取組を行っており、その都度点検を行いながら継続して実施しています。

#### ■課 題

現在、町内の小・中学校では、「朝読書」を定期的を実施することで読書習慣の定着が図られてきていますが、アンケート結果による学校の見解としては、児童生徒の読書量がやや不十分と認識されていることから、「家読書」のような取組へとつなげていく必要性があります。

また、高校生期から成人期までの読書活動においては、通学や就労時間が図書館の開館日と時間に合わず、図書館利用に至らないという問題やインターネット等を利用した学習を取り入れる機会が増えることにより本（活字）から離れていく時期でもあるという問題があります。

以上のことから、乳幼児期から小・中学生期と継続してきた読書活動が途切れることなく、成人期の読書活動へとつながるような取組が必要です。

#### ■取組のポイント

- 子どもの読書活動は大人もいっしょに行うことが大切です。
- こども園、小・中学校へと続く学校等との連携した取組の継続と充実が大切です。
- 高校生期の読書活動を充実させ、成人期の読書活動へとつなげることが大切です。

## ■主な推進項目

### 1-① 読書活動の芽生え（乳幼児期）

生涯にわたる読書活動において「準備」の期間にある乳幼児期は、保護者とともに本に親しむきっかけとなる環境と機会を提供します。

#### 1. 「本との出会い」は家庭から

##### 視 点

乳幼児期における本との出会いを大切にし、絵本を通じた語りかけにより、乳幼児の健やかな心を育みます。

##### 取 組

- 本と読書活動の説明
- おすすめ絵本の紹介
- 「ブックスタート」の実施
- 「親子絵本セット」の実施

#### 2. 生涯にわたる読書活動への誘い

##### 視 点

親子で本に親しみ、人とのコミュニケーションを深める場として町図書館の環境を整備します。

##### 取 組

- 絵本をとおした親子のふれあいのすすめ
- 親子で利用しやすい図書館の整備

#### 3. 子育て関係施設等との連携

##### 視 点

子育て支援センター、認定こども園と連携を図り、安心して本に親しむことのできる環境づくりに努めます。

##### 取 組

- 読み聞かせの機会拡充と本の選び方を相談
- 「こどもの読書セミナー」の開催

## 1-② 読書習慣の習得（小・中学生期）

小・中学生期は「発見」の時期です。「読む力」「調べる力」「表現する力」を育む環境をつくり、読書活動を支援します。

### 4. 司書派遣による学校図書室の環境整備

#### 視点

児童生徒が本に出会い、読書を楽しみ、本に親しむことができるように、司書派遣により学校図書室の環境整備に努めます。

#### 取組

- 子どもの発達段階を踏まえた学校図書室の充実と環境整備に関する相談
- 児童生徒の読書意欲を高めるとともに、自ら学ぶため、コミュニケーション能力を身に付けるための教室を開催

### 5. 図書館を拠点とした読書活動

#### 視点

たくさんの本に出会い、読書で広がる知を発見する拠点施設として、読書活動を展開します。

#### 取組

- 読書への関心を高めるための資料整備と提供
- 子どもたちの居場所として利用しやすい環境整備
- 「子どもブッカー教室」の開催
- 「1日図書館員」の実施



## 6. 家庭・学校での読書習慣と環境の充実

### 視 点

学校で行われている「朝読書」の推進とともに家庭での読書習慣の定着を目指すため、家庭・学校・地域が連携を図り、児童生徒の読書環境整備を支援します。

### 取 組

- 読書への関心を高めるための資料整備と提供
- 子どもたちの居場所として利用しやすい環境整備
- 「朝読書」「家読書」の推進
- 保護者・ボランティアとの連携による読書活動の推進
- 「こどもの読書セミナー」の開催

## 7. 学校と図書館との連携の強化

### 視 点

図書館と学校の連携を強化し、子どもたちの自ら学ぶ力の育成と読書意欲の向上を図ります。

### 取 組

- 調べ学習や総合的な学習の時間の受け入れ等の支援
- 児童・生徒への読書案内作成と配布
- 「読書感想文コンクール」の実施
- 学校図書室と図書館情報ネットワークシステムの構築
- 子どもの読書活動推進会議の開催



訓子府小学校の図書室

## 1-③ 主体的な読書活動の実践（高校生期）

高校生期は「発見」と「活動」の時期です。自主的かつ主体的な読書活動と人生の糧となる本と人との出会いを支援します。

### 8. 高校生期の読書活動支援

#### 視 点

小・中学生期で得た読書習慣を、高校生期においてより確かなものにし、主体的な読書活動を推進するため、高校と図書館の連携を図ります。

#### 取 組

- 高校との連携・協議
- 「読書感想文コンクール」の実施
- 「図書館子どもの日」の実施
- 子どもの読書の日、子ども読書週間の周知

### 9. 高校生期へのアプローチと図書情報提供

#### 視 点

高校生期の主体的な読書活動を支援するため、図書情報提供と学習活動を支援します。

#### 取 組

- 高校生向け図書リストの作成と配付
- 利用しやすい館内環境づくり
- 来館しやすい開館日や時間の検討

### 10. インターンシップ等の活用

#### 視 点

図書館で高校生のインターンシップ等を積極的に受け入れ、利用者との交流とつながりを生み出す機会として活用します。

#### 取 組

- インターンシップ等の受入
- 図書館事業や活動への参加呼びかけ

## 基本方針2 生涯読書の推進

### ■現 状

訓子府町では、子どもから大人まで継続して行われる読書活動を生涯読書として位置付け、特に成人期から高齢期の生涯にわたっていつでも本を手にとれる生活と自主的に行われる読書活動を支援するため、図書館利用を含めたさまざまな場所、誰でも利用できる図書館サービスを目指し、各種の事業を従来から継続して行っています。

この「いつでも」「どこでも」「だれもが」をモットーとした図書館サービスの根幹となる資料の購入整備や貸出、図書館に来館できない人へのサービスとして図書宅配サービス、図書館の利用促進と図書資料の有効活用を図る観点から、蔵書情報などを積極的に提供しています。

近年では読書と学びを楽しみながら広げていくことを支援し、また、図書館をより身近に利用してもらうためのインターネットによる蔵書検索や予約ができるようなサービスも行っており、特にツイッターによる情報発信は、図書館事業やお知らせのほか、町関連のイベントなど、本や図書館の情報発信手段として定着しつつあります。

### ■課 題

訓子府町における成人期から高齢期にわたる読書活動では、図書館を点としたサービスと各種事業、小・中学生期からつながる学校での支援を行ってききましたが、アンケート結果を見てみると、「本を読む人」「図書館を利用する人」は限定され、図書館に求める要望は多種多様です。

その対応策として近年、情報の提供に力を入れてきましたが、今一度、子どもから大人までが生涯にわたって本に親しむための方策や、読書活動を通してより多くの人と人がつながる取組が必要といえます。

### ■取組のポイント

- 読書への関心と学びを深める情報の提供が大切です。
- 読書活動によって人と人のつながりへと発展させることが大切です。
- 読書活動の拠点として施設の整備が大切です。

## ■主な推進項目

### 2-① 読書活動に関する情報の提供

成人期は「活動」と「発展」の時期です。各年代が求めるニーズを把握し、読書活動に関するきめ細やかな情報提供します。

#### 11. 「本のある生活」を実感できる環境整備と周知活動

##### 視 点

町の広報やホームページ、チラシを活用し、読書活動に関する情報提供を行います。

##### 取 組

- 「図書館子どもの日」の実施
- 「子どもの読書の日」「子ども読書週間」の周知
- 「読書週間」の周知
- 町の広報やホームページ、チラシ、SNS等を活用した本町読書活動情報の積極的な発信
- 読み聞かせの実施

#### 12. 「学び」から「つながり」への発展を支援

##### 視 点

図書館を拠点とし、「学び」から「人と人とのつながり」へと発展するように学習活動を支援します。

##### 取 組

- 関心の高いテーマの講座や学習会の開催
- 自主的な学習活動への支援
- 展示（発表）の場や機会の提供

### 13. 各年代期への情報提供と学習活動の支援

#### 視 点

子どもころからの読書活動を継続して行えるように、年代各期における情報提供と学習活動を支援します。

#### 取 組

- 成人（青年～中高年層）が求める読書に関する情報提供と学習活動の支援
- 目にやさしい大活字本の資料整備



新着案内「図書館の本」

## 2-② 読書活動の普及・啓発

高齢期は「活用」の時期です。生涯にわたり本に親しみ、これまで身に付けてきた知識と経験をいかしながら生きがいを見つけられる読書活動の普及・啓発を推進します。

### 14. 読書への関心と学びを高める図書館事業の推進

#### 視 点

本と読書活動を通じて交流を深め、地域の絆づくりにいかされる図書館事業を推進します。

取 組	<ul style="list-style-type: none"><li>○「古本市」の開催</li><li>○本のリサイクル活動の実施</li><li>○「図書館こどもの日」の実施</li><li>○読み語り活動への支援</li></ul>
-----	--

### 15. 読書活動をPRする事業の推進

#### 視 点

読書活動のPRを図るため、図書館を拠点とした「学び」から「交流」へとつながる事業を行います。

取 組	<ul style="list-style-type: none"><li>○学校や図書館、地域の情報を収集と情報の発信</li><li>○参考資料を提供</li><li>○学習成果発表の機会づくり</li></ul>
-----	---

## 16. 希望するあらゆる人に本と親しむ機会を提供

### 視 点

図書館への来館が困難な人でも読書を楽しむことができるように幅広い図書館サービスを展開します。

### 取 組

- 図書宅配サービスの実施
- 移動図書の実施
- 高齢者が求める読書に関する情報提供と学習活動の支援



「古本市」のようす

## 2-③ 関係機関・団体との連携

生涯にわたる読書活動は、継続することにより「共有」へと発展します。関係機関・団体との連携を図り、多世代で双方向へとつながる読書活動を支援します。

### 17. ボランティア育成の推進と支援

#### 視 点

図書館に関わり、図書館サービスを支えるサポーターやボランティアの育成と活動を支援します。

#### 取 組

- サポーター、ボランティアの育成・養成講座の実施
- 自主的な活動の支援

### 18. 関係機関やボランティア団体との連携拡大

#### 視 点

読書活動に関する関係機関及びボランティア団体との連携を深め、ボランティアとの連携と協働の場づくりを図ります。

#### 取 組

- 協働の場づくり
- 情報交換の機会を設定

## 基本方針3 図書館サービスの充実と施設整備

### ■現 状

訓子府町図書館は、町内における読書活動を展開する上で重要な拠点です。子どもたちが本に出会い、自主的な活動へとつなげるため、職員による的確なレファレンスにより図書館サービスを積極的に行っています。

また、一般の利用については、図書館資料の活用はもちろんのこと、郷土の産業や文化に関する資料も充実させていることから、町内外を問わず広く利用されています。

さらに近年では、インターネットを利用した図書館情報の提供を活発に行っており、時代と利用者の多様なニーズへの対応を柔軟に行い、町民の学びを支える図書館として、重要な役割を果たしています。

### ■課 題

図書館サービスは、学びや関心を深めるため、いつでも町民の傍らにあることを目指し、発見や学びのきっかけと継続の一助となるべく多彩な講座や講演等を開催することが期待されています。

「いつでも、どこでも本のある生活」をどのように実現し、図書館サービスの利用者の求めに応じて、図書館以外の町内公共施設等への図書配置の検討も必要です。

また、学習に必要なかつ有益な情報を発信し、人と本に関する情報が交わる中で人と人とのつながりが生まれる図書館サービスを目指す必要があります。

施設面については、アンケートの結果から見ると、現在の図書館が抱える大きな課題として「施設の老朽化」が挙げられます。建設からすでに30年以上が経過し、改善を求められる部分が多々見受けられます。施設の改修や今後考えられる建設にあたっては現在協議中ですが、将来に向けた施設整備が求められています。

### ■取組のポイント

- 「いつでも」「どこでも」学習を支援する図書館であることが大切です。
- 人と人とがつながる図書館の運営が大切です。

## ■主な推進項目

### 3-① 町内全域利用サービスの推進

移動図書や図書宅配サービスを実施し、町内全域で利用できる図書館サービス体制を構築します。

#### 19. 町民・学校等への移動図書サービスの充実

##### 視 点

来館による利用が困難な人や学校等における読書機会の提供と環境整備を図ります。

##### 取 組

- 移動図書の実施
- 図書宅配サービスの実施
- 町内全域をカバーする移動図書、配本連絡車の整備

#### 20. 公共施設等の図書整備の推進

##### 視 点

図書館が有している配本システムを活用し、図書館以外でも図書館サービスを幅広く提供し、町内全域で「本のある生活」を送ることができるように公共施設等への図書配置を進めます。

##### 取 組

- 公共施設等に図書コーナー設置

## 3-② 市民の学びを支える図書館づくり

関係機関・団体との連携を図り、広域的に市民の学びを支える図書館を整備します。

### 21. 「読みたい」に答える資料の収集と提供

#### 視 点

あらゆる世代の読書活動や学習活動の支援を行い、幅広い分野の資料の収集と提供を行います。また、広域的なネットワーク活用し、資料の提供を行います。

#### 取 組

- 新鮮な図書資料の整備
- 新着情報の提供
- 蔵書リクエストへの対応
- 北見地域等広域図書館ネットワークを活用した資料提供

### 22. 「知りたい」に寄り添う相談体制の充実と利用の促進

#### 視 点

市民が気軽に情報を求めることができ、職員が的確に対応するレファレンスサービスを充実させ、利用の促進を図ります。

#### 取 組

- レファレンスに役立つ資料の提供
- 専門職員の配置と研修機会の充実
- 資料相談体制の充実

## 23. 「調べる」がもっと身近になる図書館情報の提供

### 視 点

図書館情報の発信を積極的に行い、図書館のサービス内容等について啓発します。さらに、インターネット社会に対応した電子媒体による情報提供を活用します。

### 取 組

- インターネット等を利用した図書情報の積極的発信
- 外部データベース等導入の検討
- 郷土資料の電子資料化の検討
- 電子書籍等導入の検討

## 24. 「どこでも」を実感できる司書派遣サービスの推進

### 視 点

図書館の活動のPRと読書活動の普及・啓発を行うため、町民や団体からの求めに応じて司書を派遣します。

### 取 組

- ふれあい昼食会等への司書派遣

## 25. 「きっかけ」となる講演会・映画会・展示などの充実

### 視 点

映画上映、講演会、展示会等の事業をきっかけとし、読書に関する関心や学習の意欲を高めるとともに、新たな活動に取り組みます。

### 取 組

- 絵本ライブの開催
- 関係機関と連携したテーマ展示
- 「子ども映画会」の実施
- 「図書館こども」の日の実施
- 講演、教室に関連する資料の展示・提供

## 26. 「くねっぴ」ならではの図書展示の充実

### 視 点

本町の産業である農業や歴史などを特集した図書展示を行うなど、郷土を学ぶ図書展示の充実を図ります。

### 取 組

- 「くねっぴ」に関する図書の展示や図書の配置
- 展示に関連した講座の開催



図書館の閲覧室

### 3-③ 人と人がつながる読書を支える図書館運営

いつでもたくさんの本がある広場（空間）としての図書館を整備し、身近で親しみやすく、利用しやすい図書館運営を行います。

#### 27. 何度でも行きたくなる雰囲気づくり

##### 視 点

本と人を結ぶ場として、また町民の交流の場として機能する明るく楽しい雰囲気の図書館を目指します。

##### 取 組

- 展示・表示方法の工夫
- 言葉を交わすふれあいの場づくり

#### 28. 将来へつながる運営・サービスと施設の整備

##### 視 点

図書館資料の充実に向け、将来へつながる図書館運営に取り組みます。また、利便性及び機能の向上や図書館サービス拡充への対応を見据え、施設整備を計画的に進めていきます。

##### 取 組

- 図書購入基金制度の有効活用と計画的運用
- 図書館の整備

#### 29. 「出会い」「つながる」図書館サービスの充実

##### 視 点

常に図書館サービスの見直しを図りながら、いつでも「人と出会える」「人とつながる」「滞在できる（居場所として）」図書館を目指します。

##### 取 組

- あらゆる人が利用しやすい開館日や時間の検討
- 「本のある生活」を支える学校図書室等との地域内ネットワークの構築

## 30. 専門職員の配置と研修機会の充実

### 視 点

学びや人とのつながりを支え、図書館サービスの維持向上を図るため、図書館専門職員を配置します。また、職員の資質向上を図るため、積極的に研修会等へ参加します。

### 取 組

- 図書館司書の配置
- 各種研修会への参加

## 31. 町民とともに「考え」「学び」「歩む」図書館運営

### 視 点

住民参加による運営を行い、広く町民の意見を取り入れながら、より身近な図書館を目指します。

### 取 組

- 定期的な各種委員会等を開催し、意見聴取の場を設定
- 利用者懇談会の開催



「ふれあい昼食会」での読み聞かせ